

飛騨高山観光特集

コロナ疲れは飛騨高山で癒やそう

飛騨山脈の自然に抱かれた奥飛騨温泉郷

雄大な自然をバックに、野趣あふれる露天風呂で心も体もリフレッシュできるのが飛騨山脈(北アルプス)の奥飛騨温泉郷だ。

どの距離、湯量豊富で、露天風呂は大小合わせて100カ所以上あり、その数日本一といわれる。新穂高ロープウェイや上高地、乗鞍スカイラインなど日本屈指の山岳景勝地も近く、雄大な自然を満喫できる。

平湯温泉は温泉郷の中で一番古くからある温泉地。関東方面からのアクセスも良く、上高地や乗鞍岳のシャトルバスが発着する平湯バスターミナルがある。自家源泉を持つ宿が多く、入浴施設や足湯も充実。

福地温泉は温泉郷の中でも山の静寂に包まれた秘湯的な温泉地。温泉街には朝市があり、地元の特産品を買取ることができ、飛騨地域や新潟の古民家を移築、改装した宿も多い。

新平湯温泉は温泉郷のほぼ中央に位置し、小規模から大規模までさまざまなタイプの宿泊施設がある。飲食店も多い。名水一たるま水もあり、名水の里ともいわれている。

個性豊かな五つの温泉地
日本一、100を超える露天風呂

ルプの麓に広がる奥飛騨温泉郷だ。平湯、福地、新平湯、板尾、新穂高の五つの温泉地がある。高山市内からはバスで1時間ほど



100を超える露天風呂がある奥飛騨温泉郷(新穂高の湯)

宿泊客に好評
「湯巡り手形」

奥飛騨温泉郷で売られている湯巡り手形「奥飛騨湯けむり達人」が宿泊客に好評。豊富な湧出量を誇る奥飛騨の温泉を心ゆくまで楽しめる手形だ。

手形は一枚1200円。手形に付いている3枚の入浴シールを利用して、温泉郷の14の加盟施設からお気に入りの温泉を選んで入浴できる(施設により枚数が異なる)。シールをはがすと下地に温泉郷

充実する体験観光

E-BIKEで
上高地まで快走

テントサウナ

奥飛騨温泉郷の自然体験プログラムが充実している。E-BIKE(電動アシスト機能付き自転車)によるサイクリングやBBQ体験、温泉講座などがあり、温泉との組み合わせで楽しみが倍増している。

E-BIKEサイクリングは6月中旬〜7月中旬開催予定。標高1300以上の平湯温泉から同1790以上の安房峠を越え、長野県の上高地まで往復(片道21km)する。負担も少なく、女性や中高年でも存分に楽しめる。

参加料、E-BIKEレンタル料は9千円。上高地で利用できるカフエットやひらゆの森のテントサウナ体験とBBQが楽しめるのが、清流・高原川流域の広大なキャンプ場の敷地を利用して



E-BIKEで美しい景色を堪能

ウルトラマラソン

6月11日開催
3500人参加予定

「日本一過酷な難コース」といわれ、フルマラソン完走経験者だけが参加できる「飛騨高山ウルトラマラソン」が6月11日に開催される。11回目。新型コロナウイルスの影響で2021年は中止となったが、昨年は3年ぶりに開催約2500人が出場した。コロナ禍も収束の兆しをみせ、マラソン愛好者からは本格開催に期待の声が上がる。

コースは飛騨高山ヒックアリーナをスタートし、1000mほどで、計3500人の参加を見込んでいる。制限時間はそれぞれ14時間、11時間と設定されている。参加資格は大会当日18歳以上で、フルマラソン完走経験のある健康な男女。参加費は10000円の部が2万2千円、71kmの部が1万

めるイベントで、題して「丑感で味わう」との「BBQ体験」だ。

BBQの具材は飛騨牛3種の部位食べ比べのほか、地元野菜を用意。炭や網、鉄板なども準備している。手ぶらで参加できる。料金は施設内の温泉露天風呂入浴券付きで8千円(飲み物別)。申し込み期限は利用日の3日前まで。定員1回当たり12人。問い合わせは奥飛騨温泉観光協会。0578(89)2614。

講座「たのしい温泉講座」は7月22、23日に開催。講師は温泉のスペシャリスト、古田靖之さん。温泉の基礎知識のほか、おもしろ実験や現地の温泉巡りなどを通じて、奥飛騨、そして温泉の魅力を気軽に楽しく学べる。

対象は小学生以上で、「夏休みの研究課題にも応用可能」という。申し込み期限は開催日の5日前まで。定員は1日最大15人。参加料は実験材料費やひらゆの森温泉入浴券、保険料込みで中学生以上3千円、小学生千円。問い合わせは奥飛騨温泉観光協会。



温泉講座で知識を深めよう

新穂高ロープウェイ

山頂エリアに
展望デッキ登場

奥飛騨温泉郷にある新穂高ロープウェイの山頂エリア、標高2156mが昨年10月、リニューアルした。エリアでの楽しみ方が増え、コロナ禍で落ち込んだ観光客の回復が期待される。運営会社、奥飛騨観光開発と古屋鉄道が設置されている「三ツのエリア」について、整備を進めている。その第一弾として、山頂エリアに「頂の森」が開業した。

ロープウェイ西穂高駅周辺に展望デッキや自然に囲まれた飲食スペースが作られた。展望デッキは「檜の回廊」と名付けられ、檜・榎高連峰が間近に感じられるよう、フリーランスのよう



展望デッキ「檜の回廊」

酒蔵巡るのん兵衛まつり

6酒蔵が参加
ほろ酔い気分

古い町並が残る「さんまちエリア」の酒蔵を巡りながら、日本酒の試飲とまち歩きを楽しむ第4回の「飛騨高山・酒蔵ののん兵衛まつり」が6月9日から7月14日まで開催される。主催は飛騨・高山観光コンベンション協会。

のん兵衛まつりは、100年以上の歴史をもつ平瀬、二木、平田、老田、船坂、原田の六つの酒蔵を巡り、それぞれの日本酒を味わってもらおう。この酒蔵や中橋観光案内所、高山遊飛バスセンターで「飛騨高山酒蔵めぐりセット」(3千円)を購入すると、各酒蔵で2種類の日本酒を試飲できる。セットには特製エコバッグと記念杯が付いている。



のん兵衛まつりの試飲コーナー。日本酒の味比べを

風情ある東山遊歩道

文化財が集積
散策にピッタリ

気を感じさせるのが東山エリアで、散策にはもってこいの場所だ。多くの寺院や神社があり、風情ある建物や庭園をゆっくり巡れる「東山遊歩道」(全長5.5km)が整備されている。

高山の礎を築いた戦国武将の金森長近公ゆかりの禅宗寺院などが建ち、東山寺院群が形成されている。遊歩道はそれら貴重な文化財を巡るルートでもある。



泰玄寺近くの石畳。静かな雰囲気は散策にもってこい

飛騨高山観光特集

観光復活へ官民一体、足並みそろえ



特別対談

高山市長 田中 明氏
飛騨・高山観光コンベンション協会会長 堀 泰則氏



観光は市経済をけん引 体験観光と教育旅行推進 SDGs意識した振興策を

新型コロナウイルスでダメージを受けた岐阜県の飛騨高山観光だが、コロナ禍収束の兆しを受け、古い町並や高山陣屋など観光名所には日本人や外国人旅行者の姿が目立ち始めた。飛騨高山観光復活に懸ける思いを、高山市の田中市長と飛騨・高山観光コンベンション協会の堀泰則会長（ひだホテルプラザ会長）に聞いた。聞き手は論説委員の内井高弘。（3月上旬 市役所）

——昨年9月の市長選で初当選されましたが、市政における観光の位置付けは。

田中 市の基幹産業であり、市経済のけん引役です。持続可能な地域づくりの実現のために観光振興は欠かせず、伝統文化、郷土教育、環境、農林畜産、人材育成などあらゆる側面において、地域課題の解決のために観光を活用していきたいと考えています。

——市長の前職は飛騨・高山観光コンベンション協会の専務理事で、堀会長とともに飛騨高山の観光を引っ張ってきました。

堀 市長はもと市職員の経験があり、観光の実務経験も豊富です。観光の重要性も理解されており、非常に心強いですね。高山のブランド力を一層高めていくため、官民一体で推進していきたい。

——コロナ禍で観光業は大きなダメージを受けました。入込状況は。

田中 コロナ前は47.3万人ほどの入込がありましたが、21年は10.8万人と20万人を割り、その後、行動制限の緩和もあり、22年は30.9万人となり、回復傾向にあります。コロナ禍前の19年比では約65%となっています。

堀 コロナ禍の飛騨高山は人も少なく静かでしたが、それがアクセスもあまり良くない中山間地本来の姿ではないかと思われました。そこにかつては400万人を超える人

が訪れていた。観光の力はすごいと改めて感じますね。

堀 インバウンドも目に見えて戻っており、ホッとしています。

——古く町並や高山陣屋に代表される歴史的建造物はもちろんですが、日本一広い面積の中にはさまざまな魅力があります。乗鞍岳や五色ヶ原の森といった大自然、露天風呂の数日本一といわれる奥飛騨温泉郷、日本で唯一の2階建てゴンドラを有する新穂高山ロープウェイなど、数えきれないほどの観光コンテンツがあります。

——その中において、一番はやはり地域の方々の人柄の良さとおもてなしの精神です。旅人をもてなし、喜んでもらうのが何よりというDNAはありますが、プロモーションの部分はわずかな金額です。もっと理解を深めていただければ、われわれも努めていく必要があります。



堀 飛騨人は奥ゆかしいというのか、とても無口で、説明下手（笑）。道を尋ねられてもうまく説明できないので、連れて行ってあげると好評になるという具合ですね。

——観光振興については、興についてはどんな事業展開を。

田中 行政と民間団体・事業者との役割分担を明確にし、それぞれの得意分野を生かすことで効果的、かつ効率的な施策を実施していきます。

——先ほども言いましたが、持続可能な地域づくりのために観光を活かすこと、現在の観光客のニーズに合わせた体験プログラムの利

用促進事業と、若年層の飛騨高山ファンを増やすための教育旅行促進事業を推進します。

例えば、2月末まで、教育旅行で泊まる児童生徒・引率者を対象に、加盟店で使えるクーポン（半円分）を発行する「飛騨高山教育旅行クーポン」事業を実施しました。誘客の効果もあり、継続実施したいと考えています。

——アフターコロナ時代の飛騨高山観光はどうあるべきでしょうか。

田中 コロナ禍によって観光客のニーズ、志向が変化しました。そこをしっかりと認識し、時勢にあった取り組みを推進することが必要で、SDGs（持続可能な開発目標）を意識した観光振興に力を入れます。

堀 団体が個人に大きくシフトし、この流れは変わりません。個人が意識した観光地づくりが地域経済の活性化や持続可能な観光地を目指すと思っています。

祭りと桜で、飛騨高山は春爛漫

高山祭は完全体で実施

飛騨高山を象徴する行事が「高山祭」。高山祭の屋台行事はユネスコ無形文化遺産であり、その絢爛豪華さから日本三大美祭の一つに数えられている。

高山祭は春の「山王祭」（毎年4月14、15日開催）と秋の「八幡祭」（同10月9、10日開催）の総称。山王祭は城下町の南半分、氏神様である日枝神社（山王様）の例大祭で、上二之町・上三之町・上三之町などが舞台になる。コロナ禍の影響で2020年は中止し、21年は規模を縮小して開催したが、22年は例年通りを予定していたが、雨のため屋台の曳き揃えや御巡幸、夜祭は中止になった。

コロナ禍による行動制限もなく、マスクの着用も個人の判断となったことから、今年は「三ノ町前」と同規模で行われる（堀会長）。完全体の祭りの開催に関係者の表情も明るい。

屋台曳き揃えやからくり奉納、夜祭、御巡幸などが実施されれば多くの観光客が訪れ、追い風となりそうだ。



「山王祭」は従来通り開催される

心揺さぶる美の競演



国指定天然記念物の「臥龍桜」。見事な枝ぶりだ

飛騨高山の春を彩るのが美しい桜。県指定天然記念物の庄川桜（庄川町）、国指定天然記念物の臥龍桜（二之宮町）など見応えのある桜が至るところにある。幹の形が龍の臥した姿に似ていることから名付けられたのが臥龍桜。樹齢1000余年で、枝ぶり30m、高さ20mに及ぶ日本を代表するエドヒガンザクラの大樹。4月中旬から臥龍公園で桜まつりが開催される。

枝垂れ桜は西光寺（清見町）や薬師堂（朝日町）などにもあるが、青屋神明神社の枝垂れ桜（朝日町）は水田に映る姿がとても印象的だ。見頃は4月下旬から5月上旬で、開花時期にはライトアップされ、美しさが際立つ。

西光寺の枝垂れ桜（県指定天然記念物）は樹齢800年以上と推定され、県下でも珍しい枝垂れ桜の巨木だ。